日刊スポーツ NIKKAN SPORTS
日刊スポーツ新聞社
福岡市博多区博多駅前2の1の1
〒812-8559 電話 092(436)8711
2008年(平成20年)1月7日月曜日
PDF号外
©日刊スポーツ新聞社 2008

4度目決勝で 東福岡 悲願初V

後半伏見工の猛攻耐えた

全国高校ラグビー 決勝

ついに悲願達成―。東福岡フィフティーンが歓喜にむせぶ。4度目の挑戦となった7日の全国高校ラグビー決勝戦、3度準優勝に泣いていた東福岡が、京都代表の伏見工を12―7の1トライ差で振り切って初優勝を飾った。

苦しみ抜いた栄冠だった。前半こそ2トライを挙げるなど12―0と優位に立ったが、後半に1トライを決められると防戦一方。20分すぎから終了まで、伏見工の猛攻を耐えに耐えて、ノーサイドの笛に雄叫びを上げた。福岡県勢としては福岡電波(現福岡工大城東)以来、40大会ぶりの全国制覇となった。

01年度から2大会連続準優勝。ともに大阪代表の啓光学園にはばまれた。昨年度も大阪代表の東海大仰星に敗れていた。「打倒関西勢」。その合い言葉を胸に挑んだ一戦で、先輩たちの悔しさをはらし、頂点に立った。谷崎重幸監督(49)は「チームのみんなに感謝したい。守備中心にまとまってくれました」と涙を流した。関西勢10連覇を阻む九州の東福岡の優勝。高校ラグビー界に新たな歴史が刻まれた。

東福岡(福岡)		伏見工(京都)
12	前半	0
0	後半	7
12	計	7
2	T	0
1	G	0
0	P	0
0	前	0
0	T	1
0	G	1
0	P	0
0	後	7
12	計	7

伏見工を破り初優勝を飾った東福岡フィフティーンは笑顔で記念撮影に納まる(撮影・梅根麻紀)

東福岡今大会成績

2回戦	65―0	西陵
3回戦	80―7	大阪朝鮮高
準々決勝	24―17	佐賀工
準決勝	29―10	桐蔭学園
決勝	12―7	伏見工

詳しくは日刊スポーツで

購読のお申し込みは24時間☎0120・81・4356 http://kyusyu.nikkansports.com